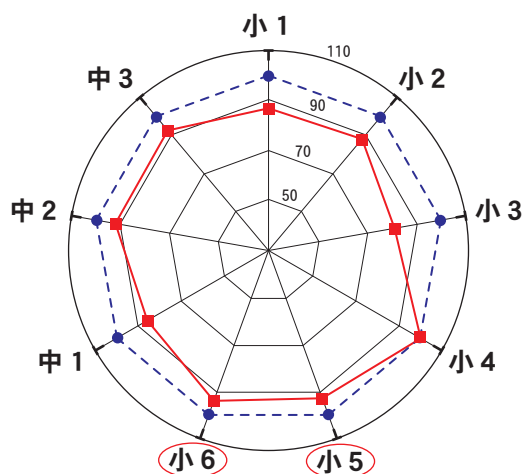


令和6年度 標準学力検査・総合質問紙調査結果

本町で毎年実施されている「標準学力検査（CRT検査）」および「総合質問紙調査（i-check）」の結果についてお知らせします。なお、本調査は町内小学校1年生から中学校3年生までを対象に実施したものです。

1 標準学力検査(CRT検査)結果

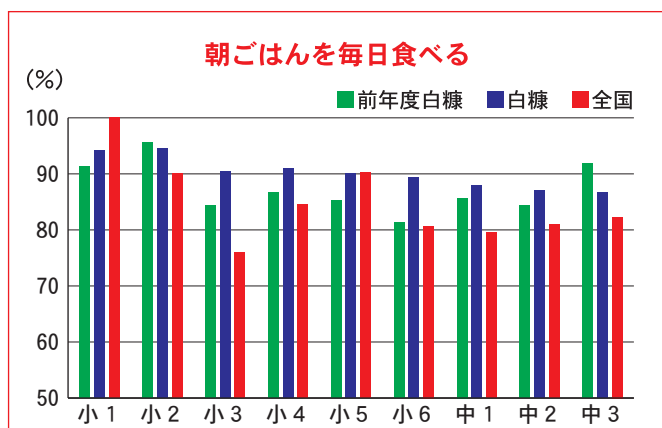
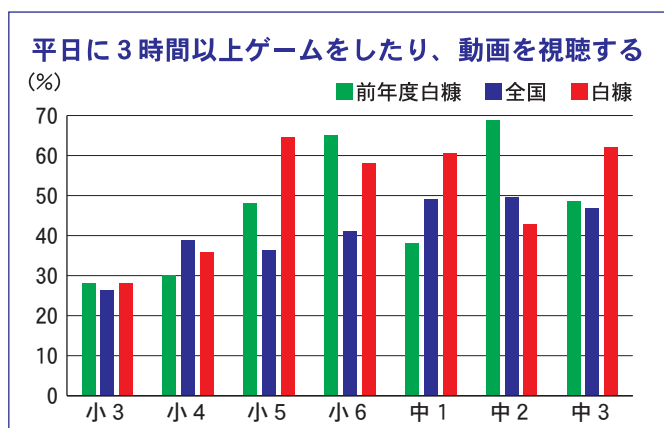
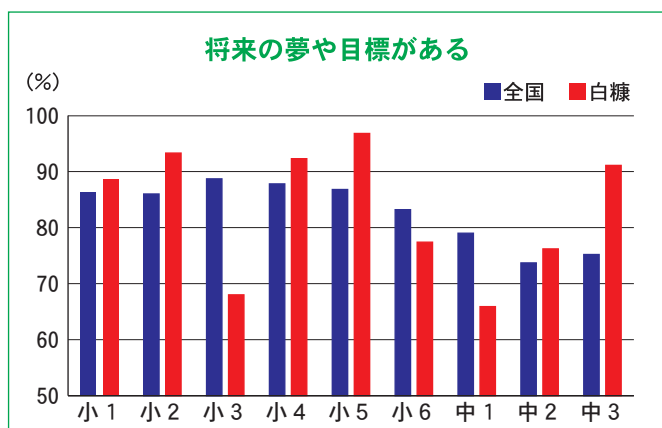


4年生が全教科総合の平均が目標値に達しました。また、赤丸囲みの5、6年生は、昨年度から伸びが見られた学年です。しかし、その他の学年は、目標値を下回っている状況です。

基礎問題と活用問題を比較すると、5年生までは基礎問題の方が正答率が高く、6年生以上は活用問題の方が高い傾向が見られました。学年が上がるにつれて学習したことをつなげ自分で考えて回答しており、望ましい傾向がうかがえます。しかし、全体的にテストで間違えた問題のやり直しをしない人が多いという課題が見られましたので、改善する必要があります。

1、2年生は国語と算数の2教科、3、4年生は社会と理科を加えた4教科、5～中学3年生まではこれらに英語を加えた5教科を実施しています。

2 総合質問紙調査(i-check)結果



6つの学年が「将来の夢や目標がある」と回答した割合が全国と比べて高く、望ましい傾向です。

しかし、4年生と中学2年生を除く学年で「平日3時間以上ゲームをしたり、動画を視聴する」と回答した割合が全国と比べて高く、放課後の過ごし方を見直す必要があります。

また、1、5年生を除く7つの学年は「朝食を毎日食べる」という割合が全国と比べて少ない状況です。

3 今後に向けて

- 学力の定着状況や質問紙調査の結果を踏まえ、日常の授業や教育活動の改善を図ります。
- 引き続き、子どもたちが将来の夢や目標をもって生活できるように取り組みます。
- 保護者や地域の方と連携をして、子どもたちの望ましい生活習慣の確立に努めます。

【問合先】教育委員会指導室 ☎ 2-2171 内線 (266)

